

民意を反映する選挙制度実現 比例定数削減反対！ 運動情報

憲法会議 発行

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp
ホームページ <http://www.kenpoukaigi.gr.jp>

【憲法しんぶん速報版】

2013年3月2日

第381号 Tel 03-3261-9007
本号2号 Fax 03-3261-5453

憲法会議は3月2日、F35生産に関する武器輸出3原則緩和に抗議する平井正事務局長談話を発表しました【全文別掲】。「3・6院内集会&議員要請」チラシを送ります。

【談話】

F35生産に関する武器輸出3原則緩和に抗議し、撤回を求めます

2013年3月2日

憲法会議（憲法改悪阻止各界連絡会議）

事務局長 平井 正

1. 政府は3月1日、安全保障会議で、航空自衛隊の次期主力戦闘機F35の9カ国による国際共同生産に関し、日本製部品の米国への輸出を武器輸出3原則の「例外」とする菅義偉官房長官の談話を決定し、閣議に報告、会見で発表しました。これは一昨年民主党政権下でおこなわれた武器輸出3原則緩和に続くものであり、憲法会議は、憲法9条をなし崩しにする攻撃として、断固抗議し、その撤回を求めます。

2. 今回の「緩和」は二重三重の問題をもっています。日本製部品の輸出が問題であるだけでなく、輸出先のアメリカがF35をイスラエルなどに輸出することも想定されており、それには日本の事前同意を要しない仕組みになっています。そればかりか、官房長官談話では「米国の一元的管理の下」におくなどとしており、「泥棒に縄をなわせる」類のまったく無責任な対応です。また、談話では「わが国の防衛生産および技術基盤の維持・育成・高度化に資する」としており、かねてより強い要求があった軍事産業の求めに応じたものです。同時に政府は、「国連憲章を順守する」ことを「例外」強行の言い訳にし、空文化の根拠にしています。これは明らかごまかしであり、憲法9条を持ち出せない弱さを露呈したのもあります。

憲法9条をないがしろにし、日本と世界の平和など歯牙にもかけず、絵に描いたようなアメリカと財界いいなり、国民無視の暴挙以外のなにものでもありません。

3. 憲法会議は、憲法の平和原則と第9条にもとづき、武器輸出禁止は最低限の措置であると考えます。今回の政府決定は、安倍首相が掲げる改憲の動きとも一体となって、憲法前文の平和主義と第9条へのあからさまな攻撃であり、日本を再び戦争する国への道を歩ませるものです。

憲法会議は、武器輸出3原則緩和に強く反対するとともに、国民多数が「9条改正に反対」していることに依拠し、明文、解釈問わずあらゆる改憲策動を許さず、憲法を暮らしと平和に生かすために引き続き奮闘するものです。

以上